

公開講演会 最新化学談話シリーズ

令和3年度 第4回談話会

非モデル生物のゲノム配列決定と その解析から見えてきたもの

伊藤 武彦 教授

(東京工業大学生命理工学院)

主催 九州大学理学部化学教室談話会

日時：令和3年 12月 9日 (木) 午後4時より

場所：B315 講義室およびオンライン (リアルタイム配信) にて実施

オンライン実施の際のURL

<https://zoom.us/j/8745527202?pwd=MkkyeGZqcFF6Y0hzM3RnYmE2Qmt2dz09>

内容：様々な分子生物学研究基盤として用いられるゲノム情報の決定は、シーケンス技術の発展や大幅なコストダウンにより、非モデル生物へと広がりを見せている。しかし、これらのゲノム配列決定では、モデル生物では見られなかったような問題が明らかになっており、その一つとして野生個体などに存在する相同染色体間の違い、すなわちヘテロ接合性の高さが挙げられる。本講演では、この問題への我々のアプローチを紹介するとともに、解析から見えてきた高いヘテロ接合性と表現型との関係性について紹介する予定である。

(注)この講演は大学院集中講義の一部です。

連絡先：九州大学大学院理学研究院化学部門

(世話人) 松島綾美 ayami@chem.kyushu-univ.jp

(事務局) 化学部門等事務室：TEL (092)802-4125